

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	角館観光協会補助金				
担当課係名	観光課	観光係	作成者	細川秀清	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画のページ 29
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし			
	主要施策	観光客受入態勢の整備			
予算費目	一般会計	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規/継続の区分			
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input checked="" type="checkbox"/> 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地域振興に寄与するために、観光客の誘客を図る。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	観光の振興をとおして、地域の活性化を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	・誘客のための宣伝事業、動向調査・研究 ・観光情報の提供・観光案内 ・イベントの実施 ・受入体制の整備

【事務事業の推移】

(単位:千円)

効果	項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
	活動指標	会員数		人	253	251
成果指標	角館地区観光客数		人	2,632,379	2,565,839	
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			2,000	8,000	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		2,000	8,000	
	人件費(B)			0	0	
		職員数				
		職員平均人件費		7,853	8,071	
(A)+(B) 投下コスト			2,000	8,000		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			7,905	31,873	
	市民1人当たりのコスト(円)			63	255	

【事務事業の今までの成果】

桜まつり、武家屋敷などに代表され「角館」が全国的な観光地となった。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国で観光庁の設置やビジットジャパン運動の展開等観光産業を推進している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	・観光客が一時期に集中してしまうので、通年を通した誘客が課題である。 ・天候に左右にくい方策が必要となる。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
B	A 現状のまま継続(実施)	市内の3観光協会の合併を念頭におきながら、他の観光協会と連携し事業を推進する必要がある。
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

- ・様々な場面で誘客宣伝を図る必要がある。
- ・桜の開花はどうしても気候に左右されてしまうため、出来るだけ誘客に影響のないような対策が必要となる。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B	行政、観光関係団体等それぞれが一体となった取組が必要となる。そのために3つの観光協会の連携(合併)を推進して事業に努めていただきたい。

